

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	7012	(H.24)No.	7012
-----------	------	-----------	------

事務事業名	水道事業会計		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
上下水道部	経営総務室	高津祥完	63-4114
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度	水道法	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施策	2	上水道
	小施策		
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード
水道事業会計	(中事業名) 予算書事業名
款	
項	(小事業名)
目	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>名張市水道事業基本計画(水道ビジョン)に基づき、安全で安定した水の供給のため、老朽化施設・老朽管の更新・改良を進めるとともに、耐震性の向上を図ります。また、業務委託を推進するとともに、上水道・下水道部門の連携を強化するなど、経営の効率化・合理化を進めます。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>持続可能な水道事業経営及び安心安全な水道サービスの提供</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
	<p>水道事業の運営 老朽化施設・管の更新・改良等</p> <p>< H22繰越分 > 資本的支出21,487千円</p> <p>< H23現年分 > 収益的支出1,547,871千円</p> <p>資本的支出676,086千円</p> <p>< H24年度への繰越明許費23,000千円 ></p>	<p>水道事業の運営 老朽化施設・管の更新・改良等</p> <p>< H24現年分 > 収益的支出1638,672千円</p> <p>資本的支出1,094,830千円</p>	補助金・交付金	その他 ()	
	<p>平成25年度(計画)</p> <p>水道事業の運営 老朽化施設・管の更新・改良、送配水幹線の耐震化等</p> <p>収益的支出 1,571,721千円</p> <p>資本的支出 943,043千円</p>	<p>平成26年度(計画)</p> <p>水道事業の運営 老朽化施設・管の更新・改良、送配水幹線の耐震化等</p> <p>収益的支出 1,590,363千円</p> <p>資本的支出 1,178,475千円</p>	<p>平成27年度(計画)</p> <p>水道事業の運営 老朽化施設・管の更新・改良、送配水幹線の耐震化等</p> <p>収益的支出 1,615,384千円</p> <p>資本的支出 1,105,128千円</p>		
直接事業費	(21,487千円) 2,008,146千円	2,523,465千円	2,322,375千円	2,576,449千円	2,528,111千円
財源内訳(千円)					
国庫支出金		10,798	11,648	13,366	
県支出金					
地方債					
その他()	(21,487)	1,907,131	2,181,863	2,430,406	2,424,907
一般財源	(0)	101,015	128,864	132,677	103,204
人工数					
職員		24.00人	20.00人	20.00人	20.00人
臨時職員等		1.00人	2.00人	2.00人	2.00人
概算人件費	(0千円) 215,811千円	210,037千円	192,389千円	192,389千円	192,389千円
+ 総事業費	(21,487千円) 2,223,957千円	2,733,502千円	2,514,764千円	2,768,838千円	2,720,500千円

本シートの概算人件費欄には、実際に要した(要する見込みの)人件費を記載しています。
 平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。
 平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24	
成果指標	目標	総収支比率	%	-	-	-	-	93.0
	実績			100.3	100.7	98.2	96.1	
成果指標	目標	水道サービスの質と料金に満足している市民の割合	%	-	-	-	-	56.0
	実績			53.7	54.0	55.6	55.9	
活動指標	目標	老朽管改良率	%	-	-	-	-	2.4
	実績			1.7	1.9	1.7	2.3	

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
<p>総収支比率は、総収益を総費用で除した割合で示すもので、平成23年度は平成22年度に比べ2.1ポイント低下した。これは、給水人口の減少や景気低迷により水需要が減少していることにより、収益のほとんどを占める水道料金が減少したことによる。</p>	<p>今後の事業経営については、料金収入の増収が見込めないことから、厳しい経営環境が続くことが予想されるなか、引き続き経費節減の経営努力をするとともに、料金体系のあり方も含め、料金改定の検討を始める。</p>

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
<p>給水人口の減少、市民の節水意識の向上及び景気低迷による使用量減少により、有収水量の減少が見込まれる。 安心で安全な水道水の供給のため、老朽化していく水道施設・設備・管路の更新が必要である。</p>	<p>水道料金を上げることは安易過ぎ、施設の老朽化は分かるが収入に見合った支出をするべき。 収入を増やす方法、支出を抑える方法を一般に問いかけてはどうですか【パブリックコメント】</p>

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢・の場合) (4)はの場合
<p>(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない <input type="checkbox"/> 検討余地がある</p>	<p>経営の合理化・効率化、業務委託の推進</p>
<p>(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない <input type="checkbox"/> 検討余地がある</p>	<p>下水道関連業務との連携強化</p>
<p>(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない <input type="checkbox"/> 検討余地がある</p>	<p>水道料金の改定</p>
<p>(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない <input type="checkbox"/> ない</p>	
<p>(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) <input type="checkbox"/> 反映予定なし(該当しない)</p>	
<p>(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない <input type="checkbox"/> 検討余地がある</p>	<p>同一箇所での水道工事と下水道工事の合併入札</p>

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)

継続(事務改善)

「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項